

平成 21 年度 活動 報告 書

目 次

はじめに 石橋会長 挨拶

I 地域情報化の推進活動

- I・1 電子自治体関連
- I・2 長崎県高度情報化推進協議会（長崎県）
- I・3 長崎県「基幹システムのダウンサイジング」説明会への参加
- I・4 長崎 E V & I T S コンソーシアム（長崎エビッツ）
- I・5 シーテックジャパン 2 0 0 9 「長崎県」ブースへの出展（長崎県）
- I・6 長崎市関連
- I・7 長崎県中小企業団体中央会関連
- I・8 九州経済産業局関連

II 交流事業

- II・1 海外との交流事業
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 通常総会・講演会・交流会
- II・4 わが社の一押し
- II・5 ビジネスコラボ事業

III 研修事業

- III・1 長崎県補助金による研修事業
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 L I V E 配信研修
- III・4 平成 21 年度 IT 経営応援隊経営者研修会（長崎地区）
- III・5 IPA 配信の LIVE 研修 3 月まで無料視聴。下記を役員選択視聴
- III・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

IV 人材高度化能力開発事業（H16 年度からキャリア形成促進事業）

V 情報提供事業

- V・1 主な情報

VI 理事会 (役員会)

平成21年度活動報告書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

はじめに

平成 21年度わが国経済は、世界同時不況の中で、かつて経験したことのない戦後最大の経済危機に直面し、中小企業の経営はまさに危機的状況に陥りました。

その様な状況のなか政界では戦後初めての政権交替が行なわれ、国民の期待も大きく膨らみました。また長崎県に於いては2月に知事選が行なわれ12年ぶりに新知事が誕生し、県民の期待も高まる中、NHKの大河ドラマ『龍馬伝』も予想以上の効果が表れ、長崎県に取りましては新しい観光元年になりました。

この様な中、前年度に引き続き研修事業につきましては、会員企業のニーズを吸い上げ、長期スケジューリングの基、車の両輪であるキャリア助成金と連動して実施して参りました結果、目標の200名を悠に越え248名の方に受講して頂きました。これに加え、JISA 補助金による地域高度IT技術者育成事業として研修2講座、23名及びLIVE 遠隔研修1講座、9名、合計280名の方に受講して頂きました。これは偏に会員企業の皆様の人材育成への関心の高さと確信致しております。

ここに会員企業の皆様に厚く御礼申し上げます。平成22年度も引き続き実施して参りますので、IT 企業の重要な経営資源である人材の育成には、特別のご配慮を賜りますよう、尚一層のご配慮を賜ります様御願い申し上げます。

次に長崎県中小企業団体中央会様からの支援事業で、県下の中小企業に対してネット市場への参入により販路拡大を図る為の助成金の交付が有り、それに伴う仕事が創出されました。

また長崎市におきましても、市内の中小製造業者に対しまして、販路開拓を推進するホームページ作成に対し作成費用の助成があり、ホームページ作成の仕事が創出されました。

以上二つとも初めての事業でございましたが、滞りなく推進し終了出来ました。関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

会員の皆様へ情報提供の充実を図るために、ホームページをリニューアルと NISA ニュースを発行しています。特に研修事業についてタイムリーに情報をお伝えできるようになりました。

社団法人 長崎県情報産業協会
会長 石橋 洋志

I 地域情報化の推進活動

長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と協力・提携しながら、地域情報化に向けての取組みや施策への提案を行った。また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータの収集等、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 電子自治体関連

(1)「オープンソースベンダーフォーラム長崎(略称:OSVFN)」活動

1) OSVFN 目的・体制等

i) 目的

- ① 県のオープンソースシステム(以下 OSS)を OSS 長崎会員(地域 IT 企業)が県内外の自治体等に販売・営業活動
- ② 会員における OSS の利用促進、開発環境構築と向上
- ③ OSS に関連した技術の研究、市場調査等を通して会員間の連携と交流
- ④ 会員のシステムのベンダービジネス、システムのインテグレーションビジネス、ソフトの保守・技術サポート、ソフトの教育普及ビジネスを支援。

ii) 組 織: (社)長崎県情報産業協会(NISA)内に設置。

幹事会を設け、組織の運営等を管轄し、事務局は幹事企業内に置く。

iii) 会 員: 入会資格は原則として NISA の正・賛助会員。但し、設立目的に同意し積極的に活動できる IT 企業(個人も含む)であれば、入会可。

iv) 会費等: 年会費 2 万円/年(現在は徴収を中断)

v) 設 立: 平成 16 年 6 月 25 日の第 11 回通常総会承認を経て発足。

vi) 幹事長: 中野氏(NDKCOM 代表取締役社長)

vii) 会員数: 18 社

2) 平成 21 年度の活動報告(OSVFN 中野幹事長)

平成 21 年度の OSVFN の活動は、全体的に低調であったが、長崎県電子県庁システムセミナーの開催と長崎県の旭川訪問に同行参加した。

i) 長崎県電子県庁セミナー開催

「開発者」向け長崎県電子県庁セミナー・交流会を開催しセミナーは 14 社 52 名、交流会は 26 名が参加し活発な交流が行われた。

日 時 平成21年7月15日(水)

場 所 長崎県町村会館(50名収容)

プログラム

14:30 - 15:00

「オープンソースを用いた電子県庁システムの構築」

長崎県総務部理事 島村氏

15:00 - 17:00

「電子県庁システムデモ」

長崎県情報政策課電子県庁班班長 今富氏

〃 主事 佐藤氏

〃 主事 久米氏

【 職員向け 】

01.ポータル・スケジューラ

02.出勤簿システム

03.手当等システム

04.人事評価システム

05.旅費システム

06.電子決裁・文書保管システム

07.WEB 職員録システム

- 08.所属用職員住所録システム
- 09.改姓届・旧姓使用申請システム
- 10.休暇システム
- 11.給与明細閲覧システム
- 12.給与等振込口座登録システム
- 13.時間外勤務等入力システム
 - ①時間外勤務等入力
 - ②実績特勤
 - ③宿日直入力
- 14.退職手当情報登録システム
- 15.職員情報変更システム
- 16.出退表示システム
- 17.研修会議受付システム
- 18.会議室予約システム
- 19.公舎独身寮システム
- 20.パソコンネットワーク協議・申請

【 管理者向け 】

- 01.課内職員配置システム
- 02.庶務担当者設定システム
- 03.職員住所録管理システム
- 04.文書保管継承班設定システム
- 05.DB メンテツール
- 06.パターン別 DB メンテツール
- 07.一斉メール送信システム
- 08.ネットワーク監視システム

交流会 18:00～

県庁も含め7社26名が参加した。

ii)長崎電子県庁システム旭川市講演への参加

OSVFN からは(株)ドゥアイネット殿が参加。報告内容は次の通りです。

報告者 (株)ドゥアイネット 井川取締役

日時:平成21年11月12日(木)13:30～17:00

場所:旭川産業高度化センター

参加:市議会議員

北海道庁職員

旭川市役所職員

東海大学職員

地元企業の方々 (計50名ほど)

長崎県 島村理事、佐藤主事

DIN 井川

【 内容 】

13:30～15:00 脱おんぶにだっこ(島村)

15:10～15:40 慣れてしまえば子育てよりもカンタン！(佐藤)

15:50～16:30 地元の仕事が人を育てる(井川)

16:30～17:00 質疑

【 所感 】

会場満席で、主催者の方も、これだけ人が集まるのは珍しいと話し、それだけ関心が高かった。

北海道では「HARP」という官民一体となったIT会社を組織していますが、継続的に仕事を回していくというのは難しく今後この組織をどうしていくか課題だそうです。

<http://www.e-harp.jp/harp/index.html>

また、旭川市役所にはNEC、富士通、日立的の3社が入っており、システムの統合がはかされていない面があり、ベンダーロックインも含めて、これも課題となっている模様。

これらの課題に対して、長崎では、職員主体の小口分割発注「ながさき方式」で解決していると聞いて、北海道の方々にはずいぶん刺激になったようです。

特に行政の方は反応が大きく、懇親会の場で、議員さんと市役所職員の間で活発な意見交換がされていたのが印象的でした。

iii)平成22年度予定

・OSVFN全体会議開催

議題 (1)長崎県電子県庁システムオープンソースビジネスに関する長崎県の支援策に関する説明会。

(2) オープンソースGRAILS研修会の開催について

開催日 平成22年7月9日 14:30～17:00

・オープンソース研修会開催

平成22年6月に Webアプリ開発フレームワークGRAILS講習会を開催予定

3)オープンソースの公開状況

i)平成 17 年 10 月 21 日公開分 ドゥアイネット

①年次休暇システム (株式会社ドゥアイネット)

ii)WEB職員録システム(株式会社)

③文書保管システム (三菱電機コントロール・ソフトウェア株式会社)

④統合メインメニュー(株式会社ドゥアイネット)

iii)平成18年4月20日公開分

①電子決済システム (日立ソフトウェアエンジニアリングシステム)

②ネットワーク監視システム (日立ソフトウェアエンジニアリングシステム)

③ながさきミュージアムネットワークシステム (株式会社NDKCOM)

④スケジューラ (株式会社ドゥアイネット)

iv)平成 18 年 12 月 27 日

①民生委員児童委員台帳管理システム(株式会社 PAL構造)

I・2長崎県高度情報化推進協議会(長崎県)……会長・会員企業・事務局 参加

(1)第1回 通常総会 長崎県農協会館 701 会議室 H21-5-15(木) 13:00～13:20

- 1)平成 20 年度決算報告、事業実績報告及び監査報告について
- 2)平成 21 年度予算(案)及び事業計画(案)報告について
- 3)協議会規約改正について
- 4)その他

(2)第1回 地域情報化セミナー 同上 702～704 会議室 H21-5-15(金) 13:30～17:30

参加数 70 名

演題「オープンソースによる汎用機のダウンサイジング」～職員力向上への取り組み～

1)演題「長崎県が進める汎用機ダウンサイジングの手法」

講師 長崎県 総務部 理事 島村 秀世 氏

2)演題「長崎県システムを利用する立場からの報告」

講師 徳島県 企画総務部 情報システム課 専門監 山住 健治 氏

3)演題「Open COBOL を用いた汎用機資産の活用」

講師 (株)ランカードコム 取締役社長 峰松 浩樹 氏

4)演題「あなたにもできる施設予約システムの開発

講師 長崎県 総務部 情報政策課 久米 香 氏
交流会 18:00～ 割烹ひぐち 中央橋店(長崎市出島町 4-3)

(参加希望の方のみ、会費 3,500 円)

(3) 第2回 地域情報化セミナー 長崎ブリックホール・国際会議場 参加者 74 名

「超高速通信に見るケータイの未来図」

～ケータイの進化と変化～

1) 演題 「モバイルブロードバンド時代をむかえるケータイの技術動向と新たなビジネスシーン」

講師 KDDI(株) コンシューマ技術統括本部 モバイルネットワーク開発本部

au 技術企画部 企画グループ 横田 孝弘 氏

2) 演題 「iPhone の事例で理解するモバイルインターネットの世界」

講師 ソフトバンクモバイル(株)マーケティング本部 iPhone 事業推進室

シニアエヴァンジェリスト 中山 五輪男 氏

3) 演題 「地域・街づくりを支援するモバイルの最新動向」

講師 (株)NTTドコモ 九州支社 長崎支店 與縄 和弘 氏

(4) 幹事会・コアメンバー会議(石橋会長出席)

平成 19 年度第 3 回幹事会において、今後の協議会の基本的なあり方検討のため、実質的な議論をする場(コアメンバー会議)の設置が提案。平成 21 年度通常総会で、コアメンバー規約化を承認。平成 20 年 3 月から平成 22 年 5 月まで 9 回開催された。

したがって、H20 年度に第1回から第5回まで開催、H21 年度は、第 6 回から8回が開催された。

1) 第6回コアメンバー会議 H21-8-24 県庁 第2別館 2階小会議室

- ・平成21年度 調査研究事業について
- ・平成21年度 第2回地域情報化セミナーについて
- ・次年度講演、セミナーについて
- ・その他

2) 第7回コアメンバー会議 H21-9-10 (メール開催)

- ・調査研究事業の選定について

3) 第8回コアメンバー会議 H22-3-25 (メール開催)

- ・平成21年度 調査研究事業交付『額の決定について』

I・3 長崎県「基幹システムのダウンサイジング」説明会 への参加 H22-2-2、13:30～

県では、OpenCobolを使用して一部の基幹システムのバッチ処理部分についてダウンサイジングを行うよう予定、平成22年度からこのプログラム移行について、順次委託を行う予定。

つきましては、このダウンサイジングを行うための手法および必要な開発ツールの説明会を下記のとおり開催します。

日 時 平成22年2月2日(火) 13:30～

場 所 情報政策課 OA研修室(中庭電算棟1階)

説明会内容 (1)ダウンサイジングの概要

(2)バッチ処理部分ダウンサイジングの手法

(3)質疑

対象システム 財務会計、職員総合、予算編成システム

必要とする知識

- ・汎用機:JCL、COBOL、ファイルシステム、帳票等の作成経験があること
- ・Web系:Perlでの開発経験があること

I・4 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)

H21-10-8(14:00～17:00) ニュー長崎ホテル「鳳凰の間」で設立会議開催。

長崎県知事を始め、下記関係省の要人、慶応大等の教授、五島市長、上五島町長等が出席され、盛大に開催された。

会長:川嶋慶応義塾大学理工学部教授

理事会:会長、副会長、WG 統括長、WG 長、国交省、経産省、HIDO、事務局

事務局:長崎県・五島市・新上五島町・長崎河川国道事務所

当日 NISA の出席者:石橋会長、佐藤副会長(システムファイブ)、扇理事(扇精光)、酒井理事(PAL 構造)、梁瀬監事(ケービーソフト)、協和機電、西肥情報サービス等、事務局

(1)WG1 EV・充電設備関連 WG 長:(財)日本自動車研究所

説明者→FC・EV 研究部 企画実証 G グループ長 荻野 方一氏

・関係機関:電力事業者、自動車メーカ、充電器メーカ 等

- ・検討事項:1)EV 導入・利用計画、
- 2)充電設備スペック、配電計画、
- 3)EVとITSの連携(CAN I/F 等) 等

(2)WG2 ITS インフラ関連 WG 長:東京大学

説明者→東京大学 生産技術研究所 先進モビリティ研究センター 准教授 牧野 浩志氏

・関係機関:電気メーカ、通信機メーカ 等

- ・検討事項:1)ITS 車載器スペック、
- 2)多言語対応、
- 3)DSRC、テレマティクス、活用場面整理
- 4)決済サービス(ETC 等) 等

(3)WG3 コンテンツ関連 WG 長:慶応義塾大学 → NISA 参加

説明者→長崎県立大学 国際情報学部 教授 森田均氏

・関係機関:市町・県、地元企業・団体、情報関連企業、観光関連企業 等

- ・検討事項:1)ニーズ把握、
- 2)サービス定義、フォーマット化
- 3)コンテンツ整理
- 4)地域情報の収集・提供等の運用方法 等

(4)WG4 エコアイランド関連:WG 長:慶応義塾大学

説明者→慶応義塾大学 理工学部 准教授 西 宏章氏

・関係機関:市町・県、電力事業者等

- ・検討事項:1)太陽電池、マイクログリッド研究の推進 等

(5)長崎県電気自動車関連ビジネス勉強会への参加

長崎県EV・PHVタウン構想、長崎エビッツにおいて、今後実施していく事業・関連設備・技術等についての紹介と、県内企業が充電ステーションや各種部品・工事等で参入できる分野はないか検証することを目的とした勉強会を開催。

開催日時 平成 21 年 12 月 11 日(金) 10:00 ～ 12:00

開催場所 出島交流会館 9F 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

開催次第

1)開会挨拶(長崎県産業労働部新産業創造課長)・・・5 分

2)講演「電気自動車及び充電設備について」

(財)日本自動車研究所 FC・EV 研究部企画・実証グループ長 荻野 法一 氏・・・30 分

3)長崎県施策の説明(長崎県新産業創造課)

長崎県EV・PHVタウン構想について・・・10 分

長崎県新産業創造課 長崎EV&ITSプロジェクトについて・・・10 分

4)ワーキンググループ(WG)の紹介

WG1(EV・充電設備関連) 長崎県新産業創造課 森田課長補佐・・・10 分

WG2(ITSインフラ関連) 長崎県新産業創造課 草野課長補佐・・・10 分

WG3(情報コンテンツ関連) 長崎県新産業創造課 福田係長……10 分

WG4(エコアイランド関連) 長崎県新産業創造課 伊藤係長……10 分

5)関連事業への地場企業参入について 長崎県産業振興財団……10 分

6)質疑 15 分

主 催:長崎県 産業労働部 新産業創造課

共 催:(財)長崎県産業振興財団

(長崎環境・エネルギー産業ネットワーク)

長崎県自動車関連産業振興協議会

I・5 シーテックジャパン2009「長崎県」ブースへの出展 (長崎県)

参加企業:不動技研工業、ドリームバンク、メロコンピュータサービスの3社

10/6～10、幕張メッセ(メール案内)

I・6 長崎市関連

(1)長崎市制施行120周年記念 全国地域情報化推進セミナー 2009 in 長崎 :NISA 後援 ～ICTに新しい風を呼ぶ 近代日本の礎 長崎のちから～

【日時】平成21年9月25日(金)14:00～17:50、26日(土)10:00～14:40

【場所】長崎ブリックホール 国際会議場 (長崎市茂里町2-38)

【主催】全国地域情報化推進セミナー2009in 長崎実行委員会

長崎市、長崎県、総務省九州総合通信局、(社)九州テレコム振興センター、
(財)全国地域情報化推進協会

【後援】総務省、長崎県高度情報化推進協議会、(社)長崎県情報産業協会(NISA)
日本社会情報学会九州支部

【参加費】無料

プログラム

《1日目:9月25日(金)》

13:00 受付開始

14:00～14:20 開 会 開会挨拶 長崎市長 田上 富久 氏

主催挨拶 財団法人全国地域情報化推進協会 理事長 清水 英雄 氏

来賓挨拶 総務省 政策統括官 原 正之 氏

14:20～15:20 基調講演 「明治期長崎の情報化と国際協力」

講師 長崎総合科学大学 教授 ブライアン バークガフニ 氏

15:30～15:55 特別講演1「今後の電子自治体に関する政策課題」

講師:総務省自治行政局地域情報政策室 室長 高地 圭輔 氏

15:55～16:20 特別講演2「地域情報化施策(地域情報プラットフォーム関係等)」

講師:総務省情報流通行政局地方情報化推進室 室長 青山 忠幸 氏

16:30～17:30 先進事例紹介 『『ひなの国九州』におけるICT利活用について』(30分)

講師 (株)NTTドコモ九州支社法人営業部 担当部長 副島 経洋 氏

「長崎さるくとICTの利活用」(30分)

講師 長崎文化観光部さるく観光課 主幹 股張 一男 氏

17:30～17:45 おしらせ 長崎市の紹介

17:45～17:50 初日閉会 閉会挨拶 総務省九州総合通信局 局長 野津 正明 氏

18:10～19:30 情 報 交 流 会(3,000円)

《2日目:9月26日(土)》

10:00～12:00 パネルディスカッション

長崎市(県)内の高校・大学の生徒学生によるパネルディスカッション

「NAGASAKI の若者たちが考える ICT 社会と地域づくり ～長崎で ICT の夢を語ろう～」

コーディネータ：長崎総合科学大学 教授 横山 正人 氏

パネリスト：長崎市立長崎商業高校 3年 佐藤 元樹 氏

パネリスト：長崎県立長崎工業高校 3年 平野 健哉 氏

パネリスト：長崎総合科学大学 4年 中村 和人 氏

パネリスト：長崎県立大学シーボルト校 4年 宮島 佑太郎 氏

パネリスト：長崎大学大学院 2年 中村 隼人 氏

13:00～13:30 プレゼンテーション【30分】

「端島(軍艦島)の紹介」 プレゼンター：3D・CG映像紹介

コミュニケーションワークス(株) 代表取締役 古場 賢一 氏

13:30～14:30 記念講演【60分】

「高度情報化時代に生きる」 日本放送協会 会長 福地 茂雄 氏

14:30～14:40 閉会挨拶

長崎市副市長 全国地域情報化推進セミナー実行委員会会長 智多 正信 氏

(2)ITの合宿「長崎ITキャンプ2009」 (社)長崎県情報産業協会(NISA) 共催IT産業への理解を深め、技術力を高めるため、最先端技術者による講義、模擬仕事体験など。
参加無料。**対象**＝20 歳以上の大学生・専門学校生・高専生、**期間**＝8月27日(木)～30日(日)※3泊4日**場所**＝やすらぎ伊王島、**定員**＝30人(申し込み多数の場合は抽選)

長崎市役所商業振興課(〒850 - 8685 桜町2 - 22)

いさやはコンピュータカレッジ	5名	
メトロコンピュータカレッジ	7名	
長崎コンピュータ専門学校	1名	
長崎情報ビジネス専門学校	2名	
長崎大学工学部	1名	
県立大シーボルト校	4名	
長崎総合科学大学	6名	
エル・エス・アイ	1名	合計 27 名

大学教授の参加

長崎大学 工学部情報システム工学科 藤村誠 准教授

長崎県立大学 シーボルト校 学生部長 伊藤憲一教授

長崎総合科学大学情報学部経営情報学科 日當明男 准教授

トッププログラマによる特別講義

①羽生章洋氏 株式会社マジカジャパン 代表取締役社長

システム開発、IT コンサルタント、執筆、講師など幅広い分野で活躍。業務フロー作成ツール「マジカ！」を開発。

②米林 正明氏

株式会社 Abby 代表取締役社長

オープンソース活動として T2 プロジェクトや、Seasar ファウンダーションの Teeda や S2JSF のコミッタを務める。

企業プレゼン(下記アンダーラインの企業のほかに 株式会社ヌーラボ)**その他、協賛企業**アイティースペース(株)、(株)エル・エス・アイ、扇精光(株)、オフィスメーション(株)、考える有限会社、ケ

ービーソフトウェア(株)、システムファイブ(株)、大和コンピュータサービス(株)、
(株)長崎ソフトウェアプロダクツ、不動技研工業(株)、(株)フライトシステムコンサルティング、
(有)ランカードコム 12 社

(3)長崎ものづくり情報発信支援事業(ホームページの作成)

国の1次補正に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、IT 技術による長崎ものづくり中小企業の製品、技術を国内外へアピールするため、市内製造業・製造小売業のWeb サイト構築を支援するとともに、各企業のWeb サイトを紹介する「長崎ものづくりWEB」を開設。

1)ものづくり Web サイト構築支援補助金

製造業、製造小売業を営む中小企業が販路開拓等を目的とした企業情報、製品情報の発信のために行う企業WEB サイトの新設、改修について、4/5 の補助金、限度額:30 万円
 サイトの品質確保のため、指針作りや業者の紹介をNISA が担当した。

2)「長崎ものづくり WEB ポータルサイト」の開設:NISA 委託。

(4)さるく観光幕末篇推進委員会:石橋会長に委員を委嘱(H21/4/9 付)

I・7 長崎県中小企業団体中央会関連

(1)「70 歳まで働ける企業」企業創出支援事業 セミナー:H21-11-30 16:10～16:50

テーマ:「高齢者雇用に伴う中小企業の戦略的経営『70 歳定年延長体制』説明会

講師 長崎総合科学大 教授 藤澤 雄一郎 氏

内容:世界でも例を見ないスピードで少子高齢化が進み、働人口が減少していく中、改正高齢法に基づく、高齢者継続雇用を契機にこれからの中小企業はどうあるべきか、事業主の視点に立った新たな経営戦略についてのセミナーであった。

(2)中小企業景況調査

- 1)平成 21 年度第 1 四半期(H21 年 4 月期～6 月期) 調査期間 5/27～6/2(調査時点 6 月 1 日)
- 2)平成 21 年度第 2 四半期(H21 年 7 月期～9 月期) 調査期間 8/26～9/1(調査時点 9 月 1 日)
- 3)平成 21 年度第 3 四半期(H21 年 10 月期～12 月期) 調査期間 11/10～11/16(調査時点 11 月 15 日)
- 4)平成 21 年度第 4 四半期(H22 年 1 月期～3 月期) 調査期間 2/24～3/2(調査時点 3 月 1 日)

I・8 九州経済産業局関連

(1)第 1 回九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議(石橋会長出席)

H21-5-25(月)14:00～16:00、福岡:西鉄グランドホテル 2階 プレジール

- 1)H21 年度九州地域イノベーションパートナーシップ事業方針
- 2)H21 年度九州地域イノベーションパートナーシップ事業内容について
 - ・九州IT経営応援隊事業(事務局:熊本ソフトウェア株式会社)
 - ・九州ITパートナー事業(事務局:財団法人 九州先端科学技術研究所)
- 3)意見交換
- 4)H21 年度の予算配分額及び事業について
 - ①予算
 - ・九州地域イノベーションパートナーシップ事業・・・3, 500万円
 - (地域イノベーションパートナーシップ等全体予算 11. 1億円)
 - ②事業
 - i .九州 IT 経営応援隊に係る取組み
 - ・IT ユーザーの IT 利活用促進事業
 - ・IT ユーザーと地域 IT ヘンターの連携促進事業
 - ・九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議事業

ii.「九州 IT パートナー」に係る取組

・IT ベンダーの供給力強化事業

5) 平成21年度「九州 IT 経営力大賞」実施要領

①名称:「九州 IT 経営力大賞2009」

②賞の種類

a.大賞1件 b.特別賞3件 c.IT ユーザー賞 7件 d.IT サポート賞 7件
e.IT パートナー賞 3件 f.選考委員奨励賞 1件

(2) 第2回九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議

出席者:石橋会長、事務局

日 時 H22-3-1 (月) 12:30~13:30

場 所 博多都ホテル (福岡市博多区博多駅東 2-1-1)

参加者 約 30 名程度

九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議委員、九州経済局、九州 IT 経営
応援隊事務局
九州 IT パートナー事務局等

議事次第

- (1) 開会挨拶 九州経済産業局
- (2) 平成 21 年度九州地域イノベーションパートナーシップ事業報告
九州 IT 経営応援隊事業 (事務局:熊本ソフトウェア(株))
九州 IT パートナー事業 (事務局:財団法人 九州先端科学技術研究所)
- (3) 意見交換

(3) 九州地域イノベーションパートナーシップセミナー H21-11-27、佐世保静産産業プラザ 『九州プロダクトライン推進部会・プロダクトライン普及セミナー』

ソフトウェア再利用の新思想「プロダクトライン」への招待

主催:九州地域イノベーションパートナーシップ

(IT パートナー事務局:九州先端科学技術研究所 (ISIT))

協賛:九州地域組込みシステム協議会 (ES-Kyushu)、

NPO 法人九州ソフトウェアコンソーシアム (QUEST)

この数年、ソフトウェア再利用の方法論として「ソフトウェアプロダクトライン」という言葉が聞かれるようになってきた。自社の業務分野の製品を継続して開発していると、顧客の違いや機能追加の連続によって自社製品に相当のバリエーションが生じる。やがては自社製品群の姿を見失って無駄な重複開発を行ったり、ソフトウェア構造の崩壊によってさらなる機能追加や品質保証が難しくなったりしがちである。ソフトウェアプロダクトラインは、自社製品群を鳥瞰し、自社製品群の「ちがいを」明確に捉え、自社製品群を包括する「つくり」を定め、ソフトウェア資産の大域的再利用を図る開発思想。本セミナーは、ソフトウェアプロダクトラインの普及を目的に、同一内容のセミナーを大分、長崎、宮崎の 3 県で開催し、ソフトウェアプロダクトラインの基本的な考え方と方法論について紹介。

①プロダクトライン開発の考え方 (30 分) 講師: 中西 恒夫氏 (九州大学・准教授)

プロダクトラインソフトウェア工学の基本的な考え方を解説。特に、製品の「ちがいを」見える化する相違生モデリング、さらに相違生モデルに基づいてプロダクトラインの「つくり」、すなわち製品間で共有されるソフトウェアアーキテクチャを導くプロダクトライン開発方法論について解説。

②プロダクトライン要求定義「スコーピング」とアーキテクチャ:

ビジネスとアーキテクチャの密接な関わり (1:30) 講師: 山崎 進氏 (北九州市立大学 講師)

企業でのシステム・ソフトウェア開発を抜本的に改善するためには、開発そのものだけを見るのでは不十分。

開発の入力はマーケティングなどのビジネス活動。そこで、プロダクトライン開発では、ビジネス要求を確実に捉え、アーキテクチャやプロセス、組織を全体最適化。本講演では文献を適宜紹介しながら、ビジネスとアーキテクチャの密接

な関係について解説。

③自動生成のプロダクトライン手法（1:00） 講師：久住 憲嗣氏(九州大学・准教授)

ソフトウェアプロダクトラインに属する各製品のソフトウェアの一部分を自動生成する方法論について事例を含めて解説。本手法では製品分野(ドメイン)に特化した製品ごとの「ちがいを」表現するためのモデリング言語を定義。そして、製品ごとの「ちがいを」をモデリング言語で記述し、製品ごとに異なる成果物をその記述に従って自動的に生成することで工数削減を図る。

II 交 流 事 業

II・1海外との交流事業

特になし。

II・2他団体・大学等との交流事業

(1)ANIA 通常総会と関連行事 H21-6-16 出席者：石橋会長、事務局

1)通常総会 16:00～16:50

- 議案 ①平成 20 年度事業報告(案)について
 ②平成 20 年度収支決算(案)について
 ③平成 21 年度事業計画(案)について
 ④平成 21 年度収支予算(案)について

2)講演会 H21-6-16 16:50～17:50 東京プリンスホテル 2階 ゴールデンカップ

①演題1『地域における情報政策の新展開について』(30分)

講師 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 夏目 建夫 氏
 概要

- ・地域イノベーションパートナーシップ構想の推進状況
 5/28 戦略会議を開催、11月岐阜県ソフトウェア ジャパンで拡大戦略会議開催予定。
- ・IT ユーザー向け施策
 IT 経営応援隊→経営者等研修、中小企業 IT 経営力大賞
 地域 IT 経営応援隊→セミナー等の啓発事業、その他地域の実情に応じた独自事業
- ・IT ベンダー向け施策
 連携補助金→中小ベンダーが、地域の IT ユーザーに情報サービスを提供するため、連携して、技術力、営業力を高める事業支援。(補助率1/2) 公募締切 7/10
 2社以上のジョイント、補助金規模:100 万円～2,000 万円/件
- ・経営 IT ベンダー表彰制度→地域の中小 IT ユーザー—等の IT 化を支援し、地域の IT 化に貢献したと認められる中小ベンダーを表彰。
- ・その他 →連携補助金に加え、連携事業を行うために必要となる資金確保を円滑にするための措置を講じる予定
- ・その他の施策(IT ユーザ・ベンダ両方向け施策)
 地域 IT 系企業の技術力指標(IT 供給力指標):自己評価する基準
 地域 IT ベンダデータベース→ユーザーとのビジネスマッチング、他の IT ベンダーとの連携に必要な基礎的情報の提供
 地域間情報交換基盤(HP、SNS、メルマガ)

地域イノベーションパートナーシップパンフレットの作成配布。

②演題2『地域情報化施策』（30分）～地域情報プラットフォーム関係等～

講師 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 青山 忠幸 氏

概要

- i 地域情報プラットフォーム→様々な情報システムが連携して業務を処理することを目的。
- ii 地域情報プラットフォーム→情報システム同士の連携を実現するために従うべき業務や技術面のルール
- iii 地域プラットフォームの狙い
 - ・地域公共団体の情報システム改革
 - ・多様なサービスの統合により、より便利で効率的なサービスを実現「次世代電子行政サービス」

3)懇親会 H21-6-16 18:00～20:00

東京プリンスホテル 11 階 末広

(2)第 31回 全情連 ANIA 沖縄大会への参加

参加者:石橋会長、濱本副会長、須藤理事、梁瀬理事、岩永氏、坂尾氏、陣内氏、事務局 8名参加

開催日:H21-11-5(水)～11-6(木)

1)視察 H21-11-5(水) 9:00～14:00 沖縄 IT 津梁パーク、嘉手納飛行場

沖縄津梁パークは、沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点の形成を目指すビッグプロジェクト。津梁とはアジアとの架け橋を意味する。
 沖縄県では IT を戦略産業と位置付け力を入れた結果、2009 年1月までに169社(累計)が進出し、約 1.6 万人の新規雇用を生み出している。
 IT 津梁パークの敷地面:約 20 ヘクタール。

コンセプト

- ①新 IT 産業(高度ソフトウェア開発等)の拠点
- ②日本とアジアを結ぶ IT ブリッジ(IT 津梁)の役割を果たす
- ③IT 産業のテストベッドの提供
- ④日本とアジアに必要な高度な IT 人材の創出集積
- ⑤優れたリゾート&IT 就職環境

中核機能支援施設

- ①ソフト開発機能 オフショアコアセンター(事務室・開発室・サーバールーム)
- ②情報サービス機能 OSS 活用推進センター、ユビキタス特区センター、ASP・コンテンツ配信センター、データセンター、企業支援設備(インキュベーション等)
- ③人材育成機能 アジア OJT センター
- ④管理・運営機能 設備管理者事務室等
- ⑤支援サービス機能 共同利用設備(会議室)、共同利用施設(プレゼンテーション×展示ルーム)、託児所、売店、喫茶室、休憩室
- ⑥共用部分 エントランスホール、ロビー、廊下、階段、エレベータ、トイレ、給湯室、機械室

2)式典・大会 H21-11-5(水) 14:30～17:45 沖縄ハーバービューホテル 2 階 彩海の間

司会:沖縄県情報産業協会 理事・ANIA 沖縄大会 運営委員長 南郷 辰洋 氏

開 会(14:30～) (社)沖縄県情報産業協会 会長 大城 弘道 氏

主催者挨拶(14:35～) 一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 会長 中村 真規 様

来賓者挨拶 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 土橋 秀義様

来賓者挨拶 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室 青山 忠幸 様

来賓者挨拶 沖縄県知事 仲井眞 弘多 氏

3)表彰式(14:45～)

①優秀経営表彰

社団法人 沖縄県情報産業協会

(株)オーシーシー 坂井 裕 氏

(株)レキサス 比屋根 隆 氏

②優秀技術表彰

社団法人 沖縄県情報産業協会 (株)オーシーシー 屋比久友秀 氏

③優秀役職員表彰

社団法人 福岡県情報サービス産業協会 行政システム九州(株) 平石 勝之 氏

4)特別講演会(15:10 ～)

演題:「IT 津梁パークに繋がる琉球王国の歴史」

講師 沖縄大学 教授 又吉 盛清 氏

かつて、琉球王国は「万国津梁」という国是の元、日本・中国・アジアの架け橋として、継貿易国として栄えた。今年オープンした沖縄IT 津梁パークは、そのような歴史的背景を踏まえ次世代の日本と中国・アジアを IT で架け橋となる産業拠点を目指している。折しも今年は、沖縄にとって「薩摩の琉球侵攻」から 400 年、明治政府による「廃藩置県」から 130 年の歴史的な節目の年を迎えている。東アジア地域の歴史研究者の視点から沖縄と IT 産業の関係性について講演。

5)報告会(15:50～)

演題:「韓国・済州島における IT 産業の現状」

講師 済州知識産業振興院 院長 金 仁煥(KIM IN HWAN) 氏

6)パネルディスカッション(16:30～)

「地域における情報通信産業の活性化に向けて」

パネリスト

- ・国際電子ビジネス専門学校 校長 稲垣 純一 氏(コーディネータ)
- ・経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 土橋 秀義 氏
- ・総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 青山 忠幸 氏
- ・一般社団法人 北海道情報システム産業協会 会長 中村 真規 氏
- ・社団法人 沖縄県情報産業協会 理事 名護 宏雄 氏

7)交流会 18:00～20:00 沖縄ハーバービューホテル

参加者:来賓 13 名、県外 97 名、県内 33 名

ご来賓 内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部長 山内 徹 氏

総務省 沖縄通信事務所 統括調整官 津幡 岳弘 氏

沖縄県 観光商工部 産業雇用統括監 上原 勝則 氏

那覇市長 翁長 雄志 氏

済州知識産業振興院 院長 金 仁煥 氏

8)エクスカーション 11/6(金)

【美ら海 水族館見学コース】 09:00～15:30

【世界遺産観光コース】 09:00～15:10 首里城、識名縁、座喜味城址

(3)ANIA 新春交歓会(東京サテライト交流会) H22-2-4 18:00～19:30 東海大学校友会館

参加者:来賓17名、会員60名(うち Nisa 石橋会長、事務局長)

ご来賓 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 土橋 秀義 氏

総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 青山 忠幸 氏

(4)ANIA 臨時総会 H21-11-5 14:15～14:25 沖縄ハーバービューホテル

・理事の選任について

福岡県情報サービス産業協会会長交替による理事退任および選任の件

(5)ANIA 理事会

1)第1回理事会 H21-4-15 14:00～17:00 メルパルク広島 事務局代理出席

- ・6月総会資料について
- ・平成 21 年度活動方針について
- ・沖縄大会の開催について
- ・一般社団法人化について

2) 第 2 回理事会 H21-9-1 14:00～17:00 ミーティングプラザ新橋 石橋会長 出席

- ・沖縄大会の開催について
- ・次年度以降の全国大会開催について
- ・地域イノベーション全国大会(岐阜)について
- ・新春交歓会開催について

3) 第 3 回理事会 H21-11-5 石橋会長

- ・副会長の互選について

4) 第 4 回理事会 H22-2-4 16:00～17:45 東海大学校友会館

- ・来年度の活動方針
- ・全国大会について
- ・済州知識産業振興院からの申し出について

(6) ANIA 事務局長連絡会議

1) 第 1 回事務局長連絡会議 H21-6-17 ミーティングプラザ新橋

- ・各県の現状 及び教会活動等

2) 第 2 回事務局長連絡会議 H21-11-4 15:00～17:00 沖縄県産業支援センター 305 号室

- 議題
- 1 近況報告
 - 2 沖縄大会での注意事項、事務連絡
 - 3 その他

3) 第 3 回事務局長連絡会議 H22-2-5 10:00～17:00 ミーティングプラザ新橋

(7) ANIA 情報サービス産業研究部会

- 1) 目的: 地域情報化や情報産業に関わる国の施策や方向性を調査、研究、交流を通じ、地域住民から産業など幅広い地域情報化を進める事を目的とする。

2) 概要

①情報通信施策研究

国の施策

- ・予算大綱や各種部会、審議会などの情報収集

新技術研究

- ・法改正や国の研究会から新技術や方向性を収集

国との交流

- ・施策などの研究会や交流を図る

②地域の情報化推進

- ・自治体、団体の情報化支援、地域企業の情報化支援、情報交換

③情報通信技術調査

- ・開発トレンド、最新ハード、ソフトの調査、メーカとの交流

3) 事業

①情報発信

- ・国の施策や予算大綱や各種部会、審議会などの情報発信
- ・新技術研究と法改正や国の研究会から新技術や方向性情報を発信

②研究会の開催

- ・各種研究会を適時実施、出席部会などの報告など

③交流

- ・地域情報化の事例などの情報交換をする。
- ・地域情報化の商材、提案などの情報交換をする。

4) 関連する省庁、団体、施策等

①総務省地方情報化推進室

②全国地域情報化推進協会 理事 辻名誉会長

- ・普及促進委員会 副委員長 中村会長(代理:堀場氏)
- ・技術委員会 委員 中村会長(代理:埼玉県)
- ・アプリケーション委員会 委員 中村会長(代理:千葉県)
- ・地域情報化人材WG 委員 中村会長(代理:ANIA 事務局)

(8)JISA 九州・沖縄支部会(福岡) H21-11-26(木) 14:00～18:30 中尾副会長出席

ホテルニューオータニ博多「すいせんの間」、懇親会「羽衣・末広の間」

開催日時 平成 21 年 11 月 26 日(木) 14:00 から

場 所 ホテルニューオータニ博多(4階 鶴の間)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-2 Tel 092-714-1111

(URL:<http://www.newotani.co.jp/hakata/>)

会議・懇親会:4 階 鶴の間

会議 14:00～16:55

- ① 主催者挨拶
- ② 来賓挨拶
- ③ 経済産業省における情報政策について(仮題)
- ④ JISA 本部報告
- ⑤ 政権交代と環境問題(仮題)

懇親会 17:00～18:30

(9)(社)福岡県情報サービス産業協会(FISA)との交流 H21-5-20

1)訪問者 :FISA厚生委員会委員長:馬場益美氏、副委員長 賀数英敏氏

2)FISAの共済保険制度の紹介

・賀数氏は、住友生命保険九州総合法人部 渉外部長

3)事業主、個人双方の保険、共済事業を実行

(10)財団法人九州先端科学技術研究所「ITパートナー事務局業務委託」 H21-10-9

・ITパートナー事業の事業説明(添付資料)

・イエローページ作成に関してご協力をお願い。

15:00 (社)長崎県情報産業協会 事務局、16:00 石橋洋志会長との面談

II・3通常総会・講演会・交流会**(1)第 16 回通常総会** H21-6-23(月) 16:30～17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員総数 31 名、委任状 19 名、合計 50 名(総正会員 59 社)

2)議 題

- ①第 1 号議案 議事録署名人の選任
- ②第 2 号議案 平成 20 年度 活動報告並びに決算・監査報告
- ③第 3 号議案 平成 21 年度 事業計画並びに収支予算
- ④第 4 号議案 定款変更について
- ⑤第 5 号議案 理事の交替/について
- ⑥第 6 号議案 その他の案件

(2)第 16 回通常総会 講演会 H21-6-23(月) 15:00～16:20

ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

①演題「富士通のクラウドコンピューティング&SaaSへの取り組み」

②講師:富士通株式会社

サービスビジネス本部SaaSビジネス推進部 担当部長渡辺 いつ子 氏

【講師略歴】

1986 年: 富士通入社

パソコンやPCサーバーのマーケティング・販売推進を担当

1998 年: 地域を中心とした中堅市場向けソリューションの拡販やパートナー様
ビジネスの推進を担当

2007 年: 現在のサービスビジネス本部で中堅市場を中心とする
SaaS ビジネスの推進を担当

③聴講者: 70 名 (会員 69 名+来賓1名)

(3) 新年度 会員交流会 H21-6-23(月) 18:00~20:15 ホテル セントヒル長崎 2F「妙見」

参加者: 会員 48 名

(4) 新春講演会 H22-1-28(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

開催日: 平成 22 年 1 月 28 日(木)、開催場所: ホテルセントヒル長崎(決定)

時間割: 下記 要検討

- ① 13:30~14:30 (1:00) 第 10 回役員会《4F グラバー》
- ② 14:40~14:55 (0:15) わが社の一押し・新春講演会の準備、
- ③ 15:00~15:15 (0:15) わが社の一押し・新春講演会 受付開始《3F 紫陽花》
- ④ 15:20~16:00 (0:40) わが社の一押し 《3F 紫陽花》
- ⑤ 16:10~17:20 (1:10) 新春講演会 《3F 紫陽花》
- ⑥ 18:00~20:15 新春交流会(懇親会)《2F 妙見》

1) 講演テーマと講師: 担当 井上理事

テーマ: 「三菱電機のグリーンITへの取り組み」

講 師: 三菱電機(株) インフォメーションシステム事業推進本部

技術企画部 グリーンITビジネス推進センター長 藤原 聡子氏

内 容:

世界的に深刻な課題である地球温暖化の抑止に向け、「グリーン IT」の重要性が高まっている。環境保護と経済成長が両立する社会を支えるグリーン IT の取り組みにおいて、企業にとって特に重要になるのがオフィスやデータセンターで増大する IT 機器や情報システムの環境負荷軽減である。今回は、オフィスやデータセンターの適用事例を中心に、企業におけるグリーン IT の推進ポイントや関連する法規制とともに三菱電機のグリーン IT ビジネス戦略とグリーン IT ソリューションの概要について、ご紹介。

講師紹介

藤原センター長は、環境経営ソリューション”MELGREEN”の事業企画・推進を主導されており、各種のセミナー等での講演活動も行っている。

【経歴】

1984 年 三菱電機(株) 計算機製作所 入社(ビジネスコンピュータ S/W 製品の開発)

2000 年 情報技術総合研究所 オープンプロダクト開発部開発第 2 グループマネージャ
(データウェアハウス製品の研究・開発)

2006 年 三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)、
データセントリックソリューション第二部次長
(データウェアハウスシステムの提案・構築)

2008 年 三菱電機(株) インフォメーションシステム事業推進本部、
技術企画部 グリーン IT ビジネス推進センター長(現職)

参加者: 総数 62 名(会員 59 名+来賓 3 名)

(5) 新春産学官交流会 H22-1-28 日(木) 18:00~20:00 ホテル セントヒル長崎 3F「妙見」

参加者: 総数 87 名(会員 59 名+来賓 28 名)

II・4 わが社の一押し

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。

交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、3回/年開催した。

(1)6月:通常総会時 :H21-6-23(月)**①アイティースペース㈱**

発表者:井崎 明宏氏、テーマ「ETC カード管理システム」

②不動技研㈱

発表者:太田 裕子氏、テーマ「3D を利用したデジタルコンテンツ」

(2)11 月:役員会終了後(拡大コラボ開催):H21-11-30**①㈱アズボーン**

発表者:社長 太田眞一氏、テーマ「WEB 制作実績のご紹介」

～最近の WEB サイトは更新が簡単 ～

②㈱長崎ケーブルメディア

発表者:課長 一倉達志氏、テーマ「ケーブルテレビの光でつながるネットワーク」

(3)1月:新春産学官交流会開催時:H22-1-28**①ケービーソフトウェア㈱**

発表者:産業情報システム課課長 坂尾 泰夫 氏

営業 井原 正樹 氏

テーマ:医療機関向けヒヤリハット改善システム「アフターインシデント」のご紹介

②エコ電子工業㈱

発表者:上席主任 大家 学 氏

テーマ:『わが社の環境ビジネスについて』～人とみどりとソリューション～

II・5 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

「ビジネスコラボ会」の開催

1)第1回 H21-5-28(木)18:30～20:00 《雑魚屋 長崎思案橋店》

2)第2回 H21-7-15(木)18:00～20:00 《壺乃屋》

3)第3回 H21-9-16(金)18:00～20:00 《大判》

4)第4回 H21-11-30(金)18:00～20:00 《どんどん亭》

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 長崎県支援による研修事業

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地場で研修ができなくなり、長崎県商工労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 21 年度は、皆様からのアンケート結果に応え 23 講座を設定し、一部応募者不足の講座があり中止したが、希望の強い 3 講座を追加し、受講者は目標であった 200 人を大きく上回り、248 人になった。受講された企業の皆様に厚く感謝申し上げる。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤技術委員長を中心に、技術委員(江崎・井上・渡邊・小原の各理事)の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

No.	講座名	開催日	日数	人数
1	LINUX基礎1 (応募者不足で中止)	6/4・5	(2)	中止
2	LINUX基礎2	7/2・3	2	5
3	LINUX Webサーバー構築	8/6・7	2	7
4	LINUX セキュリティ (応募者不足で中止)	9/3・4	(2)	中止
5	JAVA プログラミング1 (応募者不足で中止)	10/6・7・8	(3)	中止
6	JAVAプログラミング2	11/26・27	2	5
7	プログラム設計技術	4/20・21・22	3	12
8	プログラムワークショップ	4/23・24・24	3	12
9	システム設計技術	5/13・14・15	3	18
10	システム設計ワークショップ	5/18・19・20	3	47
11	VBによる.NETプログラミング	6/8・9・10	3	14
12	C#プログラミング I	8/18・19	2	6
13	C#プログラミング II	9/24・25	2	9
14	リレーショナルデータベース	9/28・29・30	3	11
15	データベース設計	10/15・16	2	12
16	ネットワーク構築	11/12・13	2	7
17	高信頼性ネットワークの構築	12/2・3	2	5
18	ネットワークセキュリティ	1/14・15	2	6
19	システム分析・設計	7/22・23・24	3	14
20	コミュニケーション能力	10/21・22・23	3	16
21	SEのためのネゴシエーション	11/4・5・6	3	18
22	プロジェクト管理	12/9・10・11	3	17
23	PMのための段取り力	1/20・21・22	3	8
24	応用技術者試験対策講座 (追加)	10/2	1	9
25	テストと品質 (追加)	12/16・17・18	3	11
26	CISCOネットワーク構築 (追加)	2/3・4・5	3	9
	合 計		58	248

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修

JISA からの補助金で下記を実施した

- i) ポジティブマネージメント(1/26・27):受講者 11 名
 - ii) VB マイグレーション技法(2/15・16):受講者 12 名
- ・上記 i、ii の受講料(テキスト込み)は ¥16,000(¥8,000/日 X2 日)はキャリア助成金を受けると、賃金の助成額を ¥700/時(企業により異なる)と仮定すると、¥16,400 助成額となる。

Ⅲ・3 LIVE配信研修

応用情報技術者試験受験対策(個人対応)講座:ライブ配信で講座開催

- ・H21年度より情報処理技術者試験制度の改定が行われている。

その中の応用情報技術者(レベル3)が長崎県で合格者13名、学生6名合計19名合格
ライブ配信受講者の希望者をとったところ現在、9名受講。

Ⅲ・4 平成 21 年度 IT 経営応援隊経営者研修会(長崎地区)

従来長崎ソフトウェアセンターが実施していたが、その代替機関として、NISA が担当している。

本件もその流れにそって、NISA が中心になり、他の関係機関(産業振興財団、長崎市商工会議所 ITC ながさき等)と協力して、経営者を中心とした無料の研修を 2 日間行う予定であった。

本来、九州 IT 経営応援隊から公募があり、その企画書を提出して、決定されるのであるが、今回は、この事業を継続的に実施しているユビキタス佐賀が、福岡地方、佐賀地方、長崎地方を一括して補助金を受けたものである。

経営課題から IT 化を進めるべき手法を学び、その結果 IT 需要を創出するものであり、IT 企業としても学ぶべき価値がある。(ユビキタス佐賀 古山田氏と 9/8 に決定)。

長崎 IT コーディネータが主体的に集客 10 人。

11/14、11/21、11/28 いずれも土曜日、9:30~16:30、出島交流会館 9F プレゼン会議室で実施した。会員は 1 社参加。

Ⅲ・5 IPA 配信の LIVE 研修 3月まで無料視聴。下記を役員選択視聴。

- (1) 1 月 12 日(火)13:30~15:00「クラウドコンピューティングと IT」
- (2) 1 月 12 日(火)15:10~16:40「機能要件に関する発注者と開発者の合意形成を目指して」
- (3) 1 月 18 日(月)13:20~16:30「仕事に役立つ思考力養成講座」

Ⅲ・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

(1) 研 修

H20年度と同様に、地域産業活性化人材養成のための研修が無料で受けることができた。また、キャリア助成金に申請すると賃金の 1/2 が助成された。その条件として、講座が 10 時間、2 日以上。土曜、祝日は振替休日をとるか、休日時間外手当を支払う。

●講座の目的

この講座は、経済産業省が所管する地域企業立地促進等事業費補助金の交付を受け、長崎県における産業集積を推進するために、地場企業、新規創業企業及び誘致対象企業において求められる産業人材を育成するために実施。

●対象者

特に制限はないが、講座によって知識や経験を求める場合があった。すべての講座について、「受講料・テキスト代無料」。スキルアップを目指す方、求職者の方々等、受講に係る制限なし。申込みは先着順で定員になり次第、締め切り。

1) 3DCAD(CATIA)研修

日 時: (初級)平成21年9月12日(土)~10月17日(土)

(中級)平成22年1月23日(土)~2月27日(土)

いずれも毎週土曜日(6日間)、9:30～16:20

場 所:長崎県職業能力開発協会(西彼杵郡時津町久留里郷1439-31)

駐車場:有り

定 員:各20名

内 容:「ものづくり」における3次元CADの概要と役割を学び、ソリッドモデルの作成、3次元プリンタを使用してのモデル作成演習等を学習。

2)3DCAD(金型設計)研修

日 時:(1回目)平成21年10月17日(土)～12月12日(土)

(2回目)平成22年1月23日(土)～3月6日(土)

土曜日・祝日(8日間)、10:00～18:00

場 所:長崎大学 総合教育研究棟10階(長崎市文教町1-14)

駐車場:長崎大学構内の駐車場を利用可

定 員:各20名

内 容:産業界で広く使われている本格的な3次元CAD・ソリッドワークスを使って機械部分の設計技術とプレス金型の設計技術を習得。

3)組込ソフト①研修

日 時:平成21年10月5日(月)～9日(金)、

11月9日(月)～13日(金)、

12月7日(月)～11日(金)

平日で通算15日間、いずれも9:30～16:20

場 所:長崎県職業能力開発協会(西彼杵郡時津町久留里郷1439-31)

駐車場:有り

定 員:15名

内 容:組込システムの概要、ETECクラス2準拠した内容を学習。

4)組込ソフト②研修

日 時:(入門)平成21年11月14日(土)～11月28日(土)

(一般)平成22年2月6日(土)～2月20日(土)

いずれも毎週土曜日(3日間)、10:00～17:00

場 所:長崎総合科学大学グリーンキャンパス17号館(長崎市網場町536)

駐車場:長崎総合科学大学構内駐車場を利用可

定 員:各15名

内 容:ロボコンを使用して楽しみながらマイコンを学ぶ。トラブルシューティングができるよう学習。

5)製造工程システム化研修

日 時:(1回目)平成21年12月5日(土)

(2回目)平成22年1月16日(土)

いずれも9:30～17:00

場 所:長崎県職業能力開発協会(西彼杵郡時津町久留里郷1439-31)

駐車場:有り

定 員:各10人

内 容:主に製造業における生産プロセスが見える形にすることを、企業内担当者が自らシステム化できるよう手法とソフトを学習。

6)3D映像シミュレーター技術者養成研修

日 時:(1回目)平成21年11月14日(土)～12月19日(土)

(2回目)平成22年1月23日(土)～2月20日(土)

いずれも毎週土曜日(5日間)、10:00～17:00

場 所:長崎総合科学大学グリーンキャンパス17号館(長崎市網場町536)

駐車場:長崎総合科学大学構内駐車場を利用可

定 員:10名

内 容:3次元映像を利用した業務や技術の開発、3次元映像を編集してWebで配信する仕事を目指せるよう学習。

7)環境分析技術研修

日 時: (1回目)Bグループ平成21年8月24日(月)～8月28日(金)

Aグループ平成21年8月31日(月)～9月4日(金)

(2回目)Aグループ平成22年1月25日(月)～1月29日(金)

Bグループ平成22年2月1日(月)～2月5日(金)

いずれも平日5日間、18:30～20:30

(キャリア助成金は対象外)

場 所:長崎大学 総合教育研究棟9階(長崎市文教町1-14)

駐車場:長崎大学構内の駐車可

定 員:各グループ10名

内 容:廃棄物、排水、大気などに係る環境状況の測定方法などを学ぶ。

8)データセンター実務研修

日 時:平成21年10月27日(火)～10月29日(木)、

11月25日(水)～11月27日(金)、

12月15日(火)～12月17日(木)

平日で通算9日間、9:30～16:20

場 所:オフィスメーション株式会社(長崎市金屋町2-6)

定 員:20名

内 容:インターネットワーク、サーバー構築、
セキュリティと運用管理などについて学ぶ。

9)電子デバイス設計研修

日 時:平成22年1月9日(土)、1月23日(土)、1月30日

土曜日3日間、いずれも10:00～17:00

場 所:長崎総合科学大学グリーンキャンパス5号館(長崎市網場町536)

駐車場:長崎総合科学大学構内駐車場を利用可

定 員:15名

内 容:電子デバイスハードウェア設計、プログラマブルロジックデバイスを使
った製品開発などについて学ぶ。

IV 人材高度化能力開発事業(H16 年度からキャリア形成促進事業)

人材高度化能力開発事業は平成 12 年度を準備年度として、平成 13 年度から 3 年間にわたり、独立行政法人 雇用・能力開発機構の助成金によって、事業を展開し、平成 15 年度に完了した。平成 16 年度より、キャリア形成促進助成金に取組んで今日に至っている。

*** キャリア形成促進助成金**

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業はその育成に取組んでおられることに敬意を表します。この重要な事業を NISA 事務局もご支援するために次のことを続けている。

人材高度化能力開発助成金制度が平成 15 年度で終了したため、平成 16 年度からキャリア形成促進助成金制度に取組むよう希望があり、協会で取組むことに理事会・総会で決定し、H21 年度は下記を実施した。

(1)雇用・能力開発機構による説明会への参加(商工会館)

雇用・能力開発機構長崎センター 助成部門 係長 安藤氏による企業に対する説明会に参加し質問して、参加者の理解を深めてもらった。

(2)H21年度認定申請書(NISA 作成の計算式搭載電子フォーム)を提供し、申請を支援

(H21 年 3 月・5 月・10 月)

キャリア形成促進助成金は、初回申請の場合、研修を実施する前であれば、期限なく何時でも良い。H21 年度認定申請担当者の変更があった企業への説明、並びにチェック等の支援を 30 社について実施した。今後、申請について、準備している企業の支援を実施。

(事務費:支給認定額の 10%)

(3)ソフトウェア SuccessPro の各企業へのインストールと説明を実施 30 社完了

(4)支給申請書のチェック支援

計算式を入れた申請フォームを Nisa で作成し、認定企業に配布し、申請業務の合理化と共同チェックを実施した。

支給申請共同チェック 5/10(月)～5/21(金)、

支給申請共同チェック 11/9(月)～11/20(金)

(5)留意点のメールによる配信

(6)説明会の案内

H21-9-14(月)長崎商工会議所(2階ホール)13:00～

H22-2-10(月)長崎商工会議所(2階ホール)13:00～

V 情報提供事業

上部団体である(社)情報サービス産業協会(JISA)、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局からの情報をメールで配信。携帯端末で見やすいように、要約をしている。

1. ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)

2. JISA メール

3. 九州経済局からの情報

これらは、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信している

4. 会員情報 など

V・1 主な情報

(1)(社)韓国テクノマート 理事長 金 鐵佑 氏 H21-10-26 来訪

2003～2005 年 LL 事業で韓国との技術交流を実施したが、そのときの韓国側の企業を取纏めた団体。理事長が来崎され石橋会長と面談。韓国忠清北道の IT 企業が九州に IT 企業との交流を希望。その世話役として来日。韓国テクノマートから、NISA 企業にアンケートのメール発信の許可を要請。名簿は NISA の HP から入手する。アンケートは、メールで送受信する。

11/12～13 北九州の西日本総合展示場で、九州国際テクノフェア2009 が開催されるが、韓国の企業 8 社が参加する。従来、新潟、石川、富山、福井と交流してきたが、韓国の南半分が、九州経済に匹敵するので、九州との交流を目指している。これらの地域には、全羅南道(光州)、全羅北道(全州)、慶尚南道(釜山、蔚山(現代 G))、慶尚北道(大邱)、忠清南道(大田)、忠清北道(清州)がある。◎印が対象。

ソウル特別市:9,820,171 人

◎釜山(プサン)広域市:3,523,582 人

仁川(インチョン)広域市:2,531,280 人

◎大邱(テグ)広域市:2,464,547 人

◎大田(テジョン)広域市:1,442,856 人

◎光州(クァンジュ)広域市:1,417,716 人

◎蔚山(ウルサン)広域市:1,049,177 人

(2) グリーンET技術者育成講座のプログラム H21-12-3 開催

開催場所: 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 情報科学センター内 201 講義室
プログラム

12:30 - 13:00 受付

13:00 - 13:10 開会の挨拶 調整中

13:10 - 13:20 共催の挨拶 長崎総合科学大学学長 貴島勝郎

13:20 - 14:40 招待講演: 「スマートグリッド」

講師: 合田 忠弘 客員教授(九州大学大学院システム情報科学研究院)

14:40 - 15:25 招待講演: 「系統連系円滑化蓄電システム技術開発／実用化技術開発／リチウム二次電池による系統連系円滑化蓄電システムの研究開発」

講師: 三菱重工業株式会社 長崎造船所

長崎プラント技術部計装電気課長 後藤正人氏

15:25 - 16:00 特別講演: 「スマートグリッドシミュレータの適用例」

講師: dSPASE Japan(株) 代表取締役社長 有馬 仁志氏

16:00 - 16:10 休憩

16:10 - 16:45 招待講演: 「長崎 EVITS でのプロジェクト紹介」

講師: 慶応大学 理工学部 システムデザイン工学科

長崎 EVITS WG4 グループ長 西 宏章 准教授

16:45 - 17:20 一般講演: 「長崎総合科学大学での自然エネルギー利用」

講師: 長崎総合科学大学 学長補佐・工学部 機械工学科 藤川 卓爾 教授

17:20 - 17:55 一般講演: 「長崎総合科学大学での地域貢献への取り組み」

講師: 長崎総合科学大学 学長補佐・

情報学部 知能情報学科 田中義人教授

18:00 - 19:30 懇親会……ご都合よろしければ是非ご参加ください。

(3) 総合科学大学 情報学部 知能情報学科公開講演

日 時: H21年10月10日(土) 14:00～16:00

会 場: 長崎歴史文化博物館(ホール)

テーマ: 「これからのロボット技術と福祉工学」

①基調講演: 「福祉の現場からみたロボット技術の課題」

小野栄一氏(厚生労働省 福祉工学専門官)

②パネルディスカッション: 「ロボットと人間の未来」

小野栄一氏

安田元一氏(知能情報学科 教授)

田中義人氏(知能情報学科 教授)

(4) 長崎総合科学大学第3回公開講演会 工学部機械工学科 約70名参加

日 時: H21年10月30日(土) 14:00～17:30

会 場: 長崎新聞文化ホール

テーマ: 「ものづくりの現状と未来」 ～日本の未来をつくる新人博士たち～

①基調講演: 「地域振興を支える科学技術」

講師: 長崎県科学技術振興局長 中村 修 氏

②特別講演: 「ものづくりが日本を支える！」

講師: 株式会社アポロン 代表取締役 彌永 真 氏

③研究発表

i. 「蒸気タービン翼列における二次流れ発生機構とその制御」

大学院工学研究科博士課程 堤 雅徳氏

(三菱重工業(株)技術本部長崎研究所勤務)

ii. 「圧鋼板の微視組織制御による疲労き裂進展抑制」

大学院工学研究科博士課程 中島 清隆氏
(新日本製鉄(株)技術開発本部大分技術研究部勤務)

iii. 「亀裂制御による船体構造信頼性向上」

大学院工学研究科博士課程 廣田 一博氏
(三菱重工業(株)船舶海洋技術部勤務)

(5) 長崎総合科学大学 情報学部 経営情報学科

日 時: H21-9-7(月) 18:00～20:00

会 場: 長崎市立図書館 多目的ホール

テーマ 『繋がる明日へ！ー考え感じる人材を育てるためにー』

①基調講演 『繋がる力ー社会・組織・人の連携力ー』

講師: 藤澤 雄一郎 氏

長崎総合科学大学情報学部経営情報学科教授

中小企業診断士・社会保険労務士

②事例発表

i. 『繋がる職場ー鉄工所らしくない鉄工所を目指してー』

発表者: 永田 孝範 氏

永田鉄工株式会社 専務取締役

ii. 『わが社のAOGU活動ー明るく面白おかしく皆で成長ー』

発表者: 石井 竜太 氏

永田鉄工株式会社 研修・マナー委員会委員長

iii. 『繋がるゼミー人間力を学ぶー』

発表者: 田中 真義 氏

長崎総合科学大学 情報学部 経営情報学科 4年・藤澤ゼミ

(6) 長崎総合科学大学 工学部 電気電子工学科

日 時: H21-11-28(月) 13:30～17:00

会 場: 出島交流会館

テーマ: 『医療の高度化に伴う技術者の育成』

①基調講演: 『電子技術が担う医療の高度化』

講師: 九州大学医学研究院 教授 橋爪 誠 氏

『光学医療と医用工学機器の応用』

講師: 長崎大学医学部歯学部光学医療診療部副部長 磯本 一 氏

②パネルディスカッション 『医療の高度化に伴う技術者の育成』

パネリスト 川根内科病院(沖縄県)臨床工学技士長・技術部長 上原 智 氏

長崎成人病センター 臨床工学部臨床工学技士 山口 雅史 氏

長崎総合科学大学大学院 大学院修士課程 水野 裕志 氏

コーディネータ 本学医療電子コース准教授 川添 薫 氏

(7) ソフトウェアテストシンポジウム 2009 九州 (JaSST'09 Kyushu)

長崎大学 宮原末治教授から案内

ソフトウェアテストシンポジウム 2009 九州 (JaSST'09 Kyushu)

～～～「ムリ、ムダ、ムラのないテストを考えよう！」～～～

日 時: 2009 年 11 月 12-13 日(木,金)

9:30-17:00 (情報交換会 11/12(木)18:00-19:30)

会 場: 西日本総合展示場(北九州市小倉北区浅野 3-8-1)

<http://www.convention-a.jp/nishiten/>

主 催： 特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)

<http://aster.or.jp/>

ソフトウェアテストシンポジウム九州 実行委員会

<http://jasst.jp/>

(8)アジア情報交換会である二木会のご案内(11/12)(九州経済産業局)

『中小のIT企業が中国企業と付き合うために』

日 時： H21 年11月12日(木) 17:00～18:00

場 所： 九州経済産業局 6F 第2・3会議室 福岡市博多区博多駅東2-11-1

講 師：(株)BCC 代表取締役会長 富田 峰雄 氏

(9)九州環境クラスター大学(9/1 開催):佐藤副会長出席

『九州環境クラスター大学オープニングセミナーin 長崎大学』

～未来を支える環境リーダーを九州から～のご案内

日 時:2009 年 9 月 1 日(火)14:00～16:30

会 場:長崎大学「中部講堂」(長崎市文教町 1-14 長崎大学文教キャンパス内)

定 員:200 名、参加費:無料

【概要】

環境問題の解決・環境ビジネスの創出には、地球全体のことを視野に入れつつ、国や地域ごとに適した方法で環境の保全を進めていくことが必要です。また、企業・大学・自治体・地域などの様々な分野の連携が必要であり、そのネットワークの存在が不可欠。

この度、K-RIP では、長崎大学、長崎県産業振興財団との連携により、九州の産業界の環境リーダーを育成する「九州環境クラスター大学」のオープニングセミナーを開催。

特別講演として、政策研究大学院大学教授、元内閣特別顧問であり、「経済危機克服のための有識者会合」で『低炭素・環境分野』の有識者として麻生内閣総理大臣に意見具申された黒川 清氏をお招きして、エコイノベーション創出のための思考法やグローバルな人材育成について講演。

また、K-RIP 会長で(株)麻生の代表取締役社長の麻生 泰氏より、九州から世界へ向けて、次世代の九州リーダーのあるべき姿について講演。

(10)ITS カーエレ関連等セミナー H22-2-5、ブリックホール

日時:平成22年2月5日(金)13:15～16:20

会場:長崎ブリックホール第1会議室(〒852-8104 長崎市茂里町 2-38TEL:095-842-2002)

内容:近年、情報化の進展は、これまでの家電・情報機器等にとどまらず、ITS(高度道路交通システム)、電子マネー、スマートグリッドなど社会の基盤システムに関する分野においても急速に進んでいる。それにともない、ソフトウェアの重要性もますます高まっており、九州地域としてどのように対応していくかがテーマの一つ。

今後の高度情報化社会で求められるソフトウェアの機能や市場展開の方向性、またそのために企業やエンジニアが準備しておく事などについて、有識者の話を聴講。

プログラム:

■13:15～13:30

主催者挨拶・九州イノベーション創出促進協議会活動紹介

(財)九州産業技術センター九州イノベーション創出促進協議会

統括コーディネータ 廣末英晴氏

■13:30～16:20

1.「安心安全な高度情報化社会の実現に向けて」～情報システムの信頼性を高めよう～

九州大学大学院システム情報科学研究院教授荒木啓二郎氏

2.「モバイル FeliCa(おサイフケータイ)の開発秘話」

～文書の記述力とチームのコミュニケーション力を鍛える～

フェリカネットワークス(株)統括課長 栗田太郎氏

3.「ITS社会における車載用 PC(Parsonal Computer)の活用策」

～車載用PCの適用事例とアプリケーション開発の方向性～

- 九州工業大学ヒューマンライフIT開発センター教授 佐藤 寧氏
- 4.「長崎EV&ITSプロジェクト(長崎エビッツ)と観光コンテンツ」
- 長崎県立大学国際情報学部教授 森田均氏

VI 理事会(役員会)

VI 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す

(1)第1回 役員会 H20-4-28(火) 15:00～17:30、出島交流会館、議事録担当 手島理事

役員以外の出席者:長崎県 産業労働 上村昌博 部長、佐々野主任主事、

1)H21 年度研修計画(県申請)について

2)通常総会時の講演会テーマと講師検討

補助金 300 万円、23 科目、受講者目標 200 名、4 月初旬に申請、科目当り、9 名収支均衡で計画
研修が軌道に乗った時点で、アルバイトを採用 18 万円/月。

3)H21 年度テーマについて各委員長提出・検討・承認(委員長による協会運営の強化)

4)仮決算(監査前)と税金額承認

5)ANIA 理事会報告

6)長崎県高度情報化推進協議会 行事報告

7)「九州のIT利活用事例集」及び「九州IT Yellow Page」紹介とNISA の取組み

8)扇理事 扇精光(株)の代表取締役社長に就任

(2)第2回 役員会 H21-5-28(木) 14:00～16:45 出島交流会館 議事録担当:井上理事

役員以外の出席者:長崎県佐々野主任主事

1)第16回通常総会の運営体制:下記承認

i)総会6月開催を承認

ii)運営体制:

16:30～17:30、3F「紫陽花」、総合司会:須藤理事、

受付応援:オフィスメーション、不動技研、PAL 構造

iii)通常総会議案書を検討し、最終案を6月12日理事会で決定する。

2)講演会の講師とテーマ:下記承認

講師:テーマ「富士通のクラウドコンピューティング&SaaSへの取組み」

3)産学官交流会の運営体制:承認

2F「妙見」、司会:濱本副会長兼交流委員長

4)平成21年度 会計報告と監査結果報告 21年度決算承認

5)新公益法人への移行準備について

6)下記の4委員会によるH21年度重点方針と実施項目の承認

①技術委員会(佐藤副会長)

②総務企画委員会(中尾副会長)

③組織強化委員会(扇理事)

④交流委員会(浜本副会長)

7)事務局体制:今坂氏 6月まで研修担当、その後事務局長。

8)平成21年度長崎県高度情報化推進協議会 通常総会・講演会(5/15、13:00～)報告

講演会 地域情報化セミナー「タウンサインセミナー」

演題「オープンソースによる汎用機のダウンサイジング」～職員力向上への取組み～

9)キャリア形成助成金 H20 年度後期分支給申請 20 社 828 万円 承認

H20 年度後期支給申請共同チェック期間の承認

10)研修事業の状況報告

11)長崎県中小企業団体中央会受託景況調査

12)九州地域組込みソフトウェア戦略策定 調査・結果報告

13)福岡県情報サービス産業協会の訪問(H21/5/20)交流

(3)第3回 役員会 H20-6-11 日(木) 14:00~16:30 :出島交流会館、議事録担当:江崎理事

役員以外の出席者:

長崎県 佐々野主任主事、

長崎市商工部産業振興課 産業情報支援センター 稲田センター長(主幹)

- 1)長崎市の提案を検討
- 2)第 16 回通常総会議案書(案)の詳細検討 下記頁の字句を修正し承認
- 3)第 16 回通常総会司会進行(須藤理事作成)案を承認、
- 4)会員交流会司会進行案(濱本副会長作成)承認
- 5)通常総会・講演会・産学官交流会体制を再確認し、承認
- 6)会員交流会 式次第 承認
- 7)平成 21 年度役員体制承認
- 8)定款変更について(平成 21 年 6 月 25 日から施行) 承認

(4)第4回 役員会 H20-6-25(木) 13:00~13:30 ホテル セントヒル長崎 2F「絹笠」

役員以外の出席者:OSVFN 幹事長 中野一英氏(NDKCOM 代表取締役)

- 1)講演会体制確認(司会:中尾副会長)
- 2)わが社の一押し(司会:井上理事)
- 3)第 16 回 通常総会体制確認(司会:須藤理事)
- 4)交流会体制の確認(司会:浜本副会長)
- 5)オープンソースベンダーフォーラム長崎 中野幹事長より案内
「開発者」向け 長崎県電子県庁セミナー・交流会の案内

(5)第5回 役員会 H20-7-15(木) 14:00~17:30 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事、中央会 村里課長

- 1)今後の NISA 運営 & 事務局長交替
 - ・今坂氏は研修を担当し、事務局長は、現状通り。
 - ・平成 21 年度の人件費予算 670 万円以内とする。
 - ・当初交替時期は、7 月 1 日であったが、今坂氏の申し出により、現状未定。
- 2)NISA ニュースの編集体制
- 3)H21年度NISA研修追加候補 6 講座アンケート決定
- 4)H21年度NISA研修受講者現況 (佐藤委員長)
- 5)シーテックジャパン2009「長崎県」ブースへの出展依頼(佐々野氏)
- 6)第 16 回通常総会議事録(メールで承認済)
- 7)通常総会後の状況報告
 - ・理事交替の登記完了:7/7、県へ届出:7/8
 - ・定款変更許可申請書:7/8 県へ提出
県からの許可が降りて、登記 7 月下旬に登記予定
 - ・会費の請求:7 月下旬予定。
- 8)8 月役員会は中止と決定
 - 中止理由は下記の通り
 - ・8 月中旬から盆
 - ・8 月 19・20 日(水)(木)NISA 研修 C#プログラミング2 開講
 - ・8 月 27(木)・28(金)・29(土)日は IT キャンプ 石橋会長出席、NISA 共催

8)IT キャンプへの参加(長崎市と NISA 共催)(石橋会長)

8 月 27(木)・28(金)・29(土)日

9)長崎新聞社へ通常総会講演会記事掲載

(6)第6回 役員会 H21-9-16(水)、14:00～17:30、石井税理士事務所

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事、
九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 田中係長
熊本県ソフトウェアセンター(九州IT経営応援隊 事務局) 藤森次長
長崎市商工部 商業振興課内 長崎市産業情報支援センター 稲田竜也センター長

【説明会】(14:10～15:20)**九州地域イノベーションパートナーシップ事業、九州地域経済情報化基盤整備補助事業について**

全体説明:田中係長様
九州IT経営応援隊等に関する詳細説明:藤森様

1)中小企業 IT 経営力大賞 2010(8/7 メール済)、申請企業の決定

募集期間:平成21年7月31日(金)～9月30日(水)午後5時
表彰式:2010年2月24日(水)(予定)

2)H21年度NISA研修について(佐藤委員長)

研修委員会を下記の通り開催し、下記の①～④を決定した。
H21-8-26(水)10:30～12:00、開催場所 NISA 事務局
石橋会長、佐藤委員長、渡辺理事、江崎理事、井上理事、事務局(岩永、今坂)

①H21年度NISA研修追加研修

i)テストと品質(3日間)

②JISA 補助金による研修講座について

i)ポジティブ・マネージメント講座 I
ii)VBマイグレーション技法(2日間コースで設定)

③LIVE配信研修について

応用情報技術者試験受験対策(個人対応)講座:ライブ配信で講座開催

④平成 21 年度 IT 経営応援隊経営者研修会(長崎地区)**3)来期会長の人選について****4)長崎EV&ITSコンソーシアムへの NISA 及び企業の参加要請(佐々野氏説明)****5)長崎市制施行120周年記念 全国地域情報化推進セミナー 2009 in 長崎プログラム**
～ICTに新しい風を呼ぶ 近代日本の礎 長崎のちから～**6)ANIA 全国大会「沖縄大会」の参加者の決定****7)長崎市緊急経済対策**

①展示会等出展事業
②提案書・パンフレット等作成事業への補助金
③長崎ものづくり情報発信支援事業(ホームページの作成) 補助金:
i)ものづくり Web サイト構築支援補助金
ii)「長崎ものづくり WEB」の開設:NISA に委託。

8) 特例民法法人からの移行体制の決定**9) NISA NEWS 次回発行****10) 平成 21 年度 第2回 ANIA 理事会(9/1 開催)(石橋会長報告)****11)新入会員(正会員) 2 社承認****12)ソフトウェアテストシンポジウム 2009 九州 (JaSST'09 Kyushu)**

長崎大学 宮原末治教授案内(8/5メール済)
ソフトウェアテストシンポジウム 2009 九州 (JaSST'09 Kyushu)
～～～「ムリ、ムダ、ムラのないテストを考えよう!」～～～
日 時: 2009 年 11 月 12・13 日(木・金)

13)キャリア形成促進助成金説明会の開催について(8/20 メール済)

平成21年9月14日(月) 長崎商工会議所(3階会議室) 長崎市桜町4番1号

- 14)九州環境クラスター大学(9/1 開催):佐藤副会長出席
 15)JISA 九州・沖縄支部会開催(11/26、福岡市内、)
 16)ものづくりフェア2009 10/15(木)～10/17(土) マリンメッセ福岡 招待券有

(8)第8回 役員会 H21-10-29 日(木) 14:00～16:30

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

- 1)平成 22 年新春講演会(1/28)テーマ検討
- 2)H21 年度NISA研修追加研修委員会検討結果を提案承認(佐藤委員長)
- 3)ANIA 全国大会「沖縄大会」の参加者 8 名を決定
- 4)新入会員(正会員) 追加 2 社を承認
- 5)財団法人九州先端科学技術研究所「ITパートナー事務局業務委託」(10/9 来崎)
 - ・ITパートナー事業の事業説明(添付資料)
 - ・イエローページ作成に関してご協力のお願い。
- 6)平成21年度 第2回地域情報化セミナー

NISA 役員 出席者:石橋会長、藤本代理、濱本副会長、酒井理事ほか
- 7)新公益法人への移行セミナー・個別相談会 H21-11-16 長崎商工会議所2階ホール
- 8)地域イノベーションパートナーシップ拡大戦略企画会議 IT利活用フェア in 中部の開催
- 9)(社)韓国テクノマート 理事長 金 鐵 佑 氏 来訪 H21-10-26
- 10)長崎EV&ITSコンソーシアム創立会議 H21-10-8(14:00～17:00)ニュー長崎ホテル
- 11)アジア情報交換会である二木会のご案内(11/12)(九州経済産業局)
- 12)【九州経済産業局】電子経済産業省アイデアボックスのご案内

(9)第9回 役員会 H20-12-12(火) 14:00～17:30 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

1)新春講演会・産学官交流会 体制を承認

i)H22 年新春講演会

- ・開催日時:平成 22 年 1 月 28 日(木) 16:00～17:30(1 時間 30 分)
- ・開催場所:ホテル セントヒル長崎、(昨年新春講演会時に予約済み)
- ・演 題:「三菱電機のグリーンITへの取り組み」
- ・講 師:三菱電機(株)インフォメーションシステム事業推進本部
 技術企画部 グリーンITビジネス推進センター長 藤原 聡子氏

ii)新春講演会の体制

- ・司会:井上理事。
- ・司会者:渡邊理事(決定)・・・本日欠席なので、事務局からその旨連絡。
- ・受付: 3 名が支援。
- ・今年度:氏名(会社名)

大串純子氏(オフィスメーション)・山本美鈴氏(PAL構造)・近藤英志氏(不動技研工業)

- ・酒井理事の指示のもとにて進行及び運営を実施する。

iii)新春産学官交流会

- ・日時:平成 22 年 1 月 28 日(木) 18:00～20:30、ホテル セントヒル長崎 2F 《妙見》
- ・招待者:30 名前後
- ・講師 永木 康人氏も参加
- ・司会:濱本交流委員長が会社の創立記念日であるため、須藤理事が担当する。
- ・受付:講演会の受付の 3 社から応援:下記 3 名

大串純子氏(オフィスメーション)・山本美鈴氏(PAL構造)・近藤英志氏(不動技研工業)

2)22 年度 研修アンケート結果と科目の決定審議と研修項目

FSC、FOM、富士通ラーニングメディア等の協力を得て、事務局の研修担当と研修委員長と相談をしながらまとめたアンケート案を前回の役員会で決定し実施(アンケートメール発信 12/1)した。アンケート結果は下記添付資料の通り。

今回は、カリキュラムの入替を考慮するために、34講座について、アンケートした結果、H22 年度の希望受講者数は、391名となった。昨年度のアンケート結果と25科目で比較すると、H21年度は、388名で、H22年度は、351名となり、今回は、37名の減。

**3)助成金を活用した組込み技術者研修で業界No.1(イーソル エンベックス社)による組込みソフト研修
来年度のニーズと取組み方検討(NISA 取組み決定)**

4)NISA ホームページの改良仕様について(酒井理事)

5)IPA 配信の LIVE 研修3月まで無料:役員で視聴することに決定。

6)我が社の一押し 次回(1月新春講演会)開催内容の検討(浜本交流委員長 検討・報告)

7)第2回 WG3(情報コンテンツ関連)報告・検討(開催場所が五島 12/11):KB ソフト梁瀬理事報告

8)ANIA 新春交歓会(H22-2-4 日(木))参加者の検討と決定

9)長崎市Web補助金 現状と来年度について

10)中小企業支援施策の「ワンストップ・サービス・デイ」の開催(長崎は 1/18 開催)

11)「平成21年度 地域情報化施策説明会」の開催(大分・宮崎・福岡)

12)「長崎県電気自動車関連ビジネス勉強会」開催(12/11 開催)

13)キャリア促進助成金 H20 年度後期支給額決定

19 社 約 760 万円の助成額が決定した。約 76 万円の事務費を 19 社に請求。

14)キャリア促進助成金 H21 年度前期支給申請書 11/24 提出完了

15)事務局長会議(11/4)報告

(10)第10回 役員会 H22-1-18(月) 13:00~16:35 ホテル セントヒル長崎

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

1)新春講演会等行事スケジュール 下記承認

- ①13:30~14:30 (1:00)第 10 役員会《4F グラバー》
- ②14:40~14:55 (0:15)わが社の一押し・新春講演会の準備、
- ③15:00~15:15 (0:15)わが社の一押し・新春講演会 受付開始《3F 紫陽花》
- ④15:20~16:00 (0:40)わが社の一押し 《3F 紫陽花》
- ⑤16:10~17:20 (1:10)新春講演会 《3F 紫陽花》
- ⑥18:00~20:15 新春交流会(懇親会)《2F 妙見》

2)新春講演会体制確認 H22-1-18(月) 16:10~17:20 3F 「紫陽花」:承認

i)司会:井上理事

ii)受付:大串純子氏(オフィスメーション)・山本美鈴氏(PAL構造)・近藤秀志氏(不動技研工業)

iii)演 題:「三菱電機のグリーンITへの取組み」

講 師:三菱電機(株)インフォメーションシステム事業推進本部

技術企画部 グリーンITビジネス推進センター長 藤原 聡子氏

3)新春産学官交流会 H22-1-18(月) 18:00~20:30 2F 《妙見》:承認

i)司会:濱本副会長(交流委員長)

ii)受付:大串 純子様(オフィスメーション)・山本 美鈴様(PAL構造)・近藤様(不動技研工業)

iii)講師 藤原 聡子氏も出席

4)H21 年度 研修受講者の現況と受講者確保対策(報告;佐藤技術委員長):総合計 247 名

5)JISA 補助金による研修講座(事務局)の追加参加者の確認

下記および説明の通り、全員一致で承認された。

1)アイティー・スペースから、①および②について 7 名参加する。

2)JISA より80万円の補助金

また雇用能力開発機構とも話をしているので、キャリアの補助が受けられる。

①ポジティブ・マネジメント講座 I (現在:11 名)

- ②VBマイグレーション技法(2日間コースで設定)(現在:11名)
- 6)助成金を活用した組込み技術者研修で業界No.1(イーソル エンベックス社)による組込みソフト研修
来年度のニーズとNISA 取組 長崎での開講 10名→7名→4名
- 7)新入会員 1社承認
- 8)平成20年度第5回理事会(2月5日(木)新年交歓会・理事会 東京)16:00～17:30
東海大学校友会館「諏訪の間」霞が関ビル35階
18:00～19:30 ANIA 新春交歓会
議題 ①ANIA 活動方針について
②全国大会
③その他
- 9)ANIA 事務局長連絡会議 H21-2-5(金)10:00～12:00 ミーティングプラザ新橋
議題 1 近況報告
2 地元行政機関 CIO の状況について
3 会員増強対策について
4 その他
- 10)ANIA 新春交歓会参加 H21-2-4(木) 18:00～19:30 東海大学校友会館「富士の間」
ANIA 新春交歓会(併催:東京サテライト交流会):石橋会長、事務局のほか、富士ソフト SSS 東京
サテライト・オフィス 営業課長 小関 雄司氏 参加。
- 11)長崎県「基幹システムのダウンサイジング」説明会の開催(2/2、13:30～)
- 12)ITS カーエレ関連等セミナー案内(2/5 開催、ブリックホールにて)
- 13)「平成21年度 地域情報化施策説明会」の開催案内

(11)第11回役員会 H21-2-25(木)14:00～17:00 出島交流会館

役員以外の出席者:長崎県 佐々野主任主事

- 1)NISA ホームページのリニューアルについて
- 2)H22 年度以降の「組み込みソフト技術者育成」とNISA の取り組み(佐藤委員長)

- ① 用件:平成22年度以降の組み込み技術者の育成について
- ② 日時:平成22年2月18日 16時～17時30分
- ③ 場所:長崎総合科学大学
- ④ 出席者:佐藤【システムファイブ】、川浪氏【アバール】、川下氏【佐世保高専】、
田中氏、下島氏【総科大】、江藤氏【長菱制御】、末光氏、野村氏【NPO サンスイ】

打合せ要旨:経済産業省による地域企業立地促進等事業補助金を活用した人材育成事業は、平成22年度が県南地区での3年計画の最終年度となるので、それ以降の人材育成に関し、組み込みソフトを対象にして取り組み方針を協議した。

3)H22 年度研修事業と実践型人材養成システム(キャリア助成金:認定実習併用職業訓練)

- 厚生労働大臣の認定を受けた「実習併用職業訓練(実践型人材養成システム)」実施する事業主に対する補助。(職業能力開発促進法10条の2)

(1)基本要件

企業内におけるOJT(※2)と教育機関で行なわれる訓練(OFF-JT)を効果的に組合せて実施する訓練。

実施機関:6ヶ月以上2年以下

総時間数:1年あたりの時間数に換算して850時間以上(※3)

総訓練時間に占めるOJTの割合が2割以上8割以下。

訓練終了後に評価シート(ジョブカード様式6号)により職業能力の評価を実施すること。

※2 OJT とは、事業主が行う業務の遂行の過程内における実務を通じた実践的な技能及びこれに関する知識の取得に係わる職業訓練

※3 「総時間数が 1 年あたりの時間数に換算して」とは訓練の実施期間に対する総訓練時間数の割合が、1 年(365 日)の実施期間において、総訓練時間が 850 時間以上の場合と同じ。

(2)対象者(15 歳以上 40 歳未満)

新たに雇い入れた雇用保険の被保険者または被保険者になろうとする者

既に雇用している短時間労働者であって、引続き、同一の事業主において、通常の労働者の転換させることを目的として訓練を受けさせる者(訓練開始日と同日に通常の労働者となることに限る)

(3)支給内容

A. 座学等(OFF-JT)に対する助成

①経費助成

②賃金助成

③事業主自ら運営する座学(OFF-JT)の実施に係わる助成

B. 実習(OJT)に対する助成

①賃金助成

②実施に係わる助成

C. 能力評価の実施に係わる助成

①訓練終了後、ジョブ・カード様式 6 号により評価を行なった場合、4880 円/人

D. 訓練の導入に対する助成「中小企業のみ」

①訓練を導入して 1 人目の助成対象者が生じた場合に 20 万円(1 事業所 1 回限り)

E. 登録キャリア・コンサルタントにより実施されるキャリア・コンサルティングへの助成

①外部の専門機関等にキャリア・コンサルティングの実施を委託した場合、委託費の 1/2 相当する額 (経費助成の限度額:50 万円/事業所)

②事業所内に登録キャリア・コンサルタントを配置し、キャリア・コンサルティングを実施した場合の奨励金 15 万円(1 事業所 1 回限り)

③キャリア・コンサルティングの実施期間中に支払い

4)第 2 回九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議開催(3/1)

出席者決定:石橋会長、事務局

日 時 H22-3-1(月) 12:30~13:30

場 所 博多都ホテル(福岡市博多区博多駅東 2-1-1)

参加者 約 30 名程度

九州地域イノベーションパートナーシップ推進会議委員、九州経済局、九州 IT 経営応援隊事務局、九州 IT パートナー事務局等

5)H21 年度九州 IT 経営大賞 表彰式・記念講演 出席者検討:石橋会長、事務局

6)「全国ITベンダ情報データベース」への企業情報登録の協力依頼

7)情報労連(情報産業労働組合連合会)のについて

8)一般会員の委員会への参画(提案者:浜本副会長)

9)研修担当今坂氏から故島氏への交替 (石橋会長)

10)第4回 ANIA2月理事会報告 H22-2-4(石橋会長)

11)ANIA事務局長会議報告 H22-2-5 10:00~12:30

12)「労働関連セミナー」の開催(3/24)ホテルセントヒル長崎 3F 紫陽花の間

13)新上五島町EV・ITS実配備促進協議会による電気自動車導入式の開催